

## 4 施設整備計画

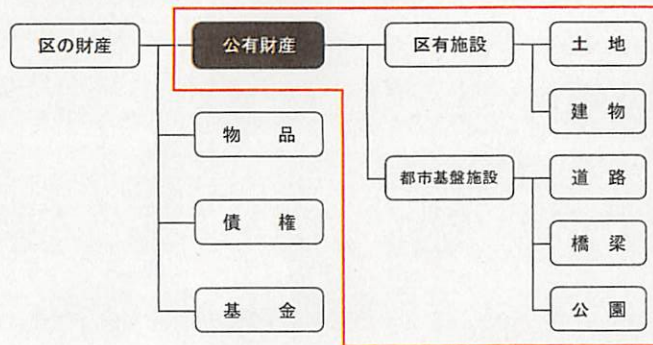
これまで区は、社会環境の変化や様々な区民ニーズに応じて、教育施設、福祉施設、コミュニティ施設をはじめ、多くの公共施設を整備してきました。

今後、施設の老朽化に伴う改修や改築等にかかる更新費用を平準化して計画的に実施するために、公共施設と都市基盤施設について、その整備状況、運営状況、維持管理コスト等を整理するとともに、将来の更新等にかかる経費を試算した公有財産白書（平成26年3月）を作成しました。

その結果、今後50年間に区有施設や都市基盤整備の機能更新にかかる費用は約3,016億円で、年平均で約60億円の試算となっています。

このように、既存施設の機能更新には今後多額の費用がかかること、また、今後10年間の新たな行政ニーズへの対応が必要なことから、区の財政状況を十分に踏まえ、新たな施設の整備や老朽化した施設の機能更新を適切に実施するため「施設整備計画」を作成しました。

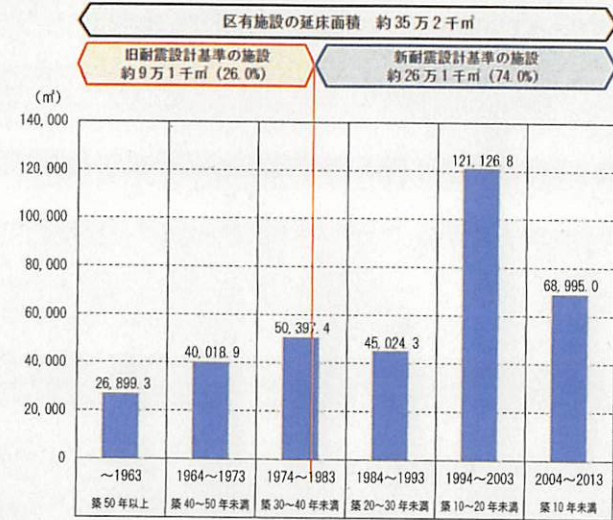
### (1) 公有財産の現況（平成26年3月31日現在）



区有施設	土地	239,895㎡
	建物	施設数：72施設 延床面積：352,462㎡
都市基盤施設	道路	延長：129,983m 面積：1,303,710㎡
	橋梁	22橋
	公園	区立都市公園：22か所（104,410㎡） 区立児童遊園：25か所（7,016㎡）

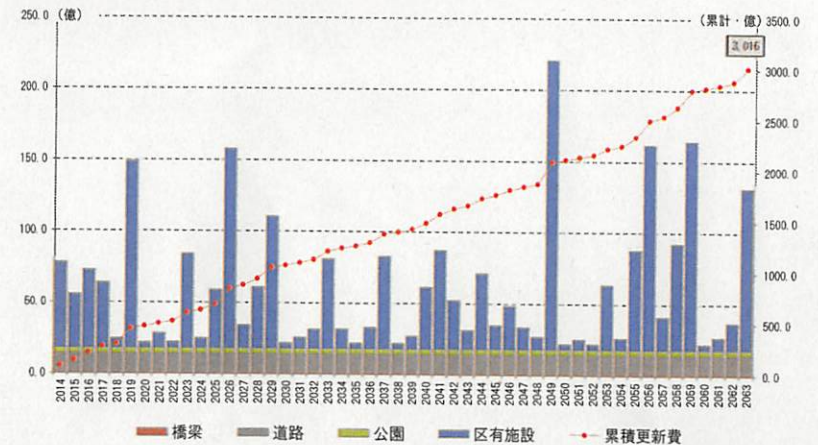
### (2) 区有施設の建築年次別の現況（平成26年3月31日現在）

区有施設のうち、延床面積約9万1千㎡（26.0%）が旧耐震設計基準の施設、約26万1千㎡（74.0%）が新耐震設計基準の施設となっています。また、築30年以上の施設は延床面積で約11万7千㎡（33.3%）で、今後20年間で築50年を越え、改築等が必要となってくる施設もあります。



### (3) 公有財産の将来推計（今後50年）

今後50年間の公有財産全体の更新費用を試算すると、更新費用の総額は約3,016億円となります。年間約60.3億円で、区有施設の更新にかかる経費が約42.5億円、都市基盤施設の更新にかかる経費が約17.8億円となっています。



出典：千代田区公有財産白書（平成26年3月）

ムダ使いをしている余裕はか！